

新任教員紹介

①所属学科 ②学位 ③研究テーマ(専門分野) ④千里金蘭大学での主な担当科目 ⑤千里金蘭大学での抱負



笹本 美佐 教授

①看護学科②看護学修士
③精神看護学④精神看護
対象論⑤精神看護の奥深
さと面白さをともに学びま
しょう。



岡川 寛 助教

①看護学科②保健学修士
③成人看護学④成人看護
学実習I⑤一緒に看護の
楽しさを追及しましょう!



寺本 久美子 助手

①看護学科②次世代教育
学学士③子育て支援・ア
タッチメント④母性看護
助産演習⑤母性看護・助
産の楽しさをお伝えしたい
と思います。

後援会事業のご案内

3号館1・2階のスペース更新

今年5月26日(土)開催の平成30年度総会にて新規承認されました特別事業の一つである「大学校舎3号館1・2階のスペース更新」につきまして、現在各部署担当者で構想案の最終調整をおこなっています。今回のコンセプトは「大学の顔になる空間」。在学生のみならず、地域の方々や受験生が集まりやすい・親しみやすい最適な環境に生まれ変わります。なお、来年3月末完成に向けて、更新工事は春休み期間中を予定しております。工事期間中は皆さまにご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。



1階の一部更新イメージ図

保護者対象就職セミナー及び 情報交換会開催中止について

9月30日(日・祝)に開催を予定しておりました「保護者対象就職セミナー」及び「情報交換会」は、台風24号の影響により中止させていただきました。保護者の皆さまより多数のお申込みをいただいていたところ、皆さまの安全を最優先に、判断をさせていただきました。来年度も引き続き当該セミナーを企画し、ご子女の就職支援のあり方を考える有効な機会を提供できればと考えておりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

学園へのご支援のお願い

本学園が設置する本学、金蘭会高等学校・中学校及び金蘭会保育園の質の充実に向けて、在学生保護者、同窓生、教職員、一般有志及び団体の皆さまからのご支援・ご協力を賜りたく、ご寄付の募集(任意)をさせていただきます。本学では、この寄付金を通じて、奨学金の充実や、課外活動、施設・設備の充実など、学生の方々の学びの環境の更なる充実に活用することを目的としております。昨今の厳しい経済情勢の折柄、誠に心苦しいお願いとは存じます

が、何とぞご支援・ご賛同を賜りますようお願いいたします。詳細につきましては、別紙「ご寄付のお願い」を同封しておりますので、ご確認ください。なお、本件に関するお問い合わせは、下記宛にお願いいたします。

金蘭会学園 法人事務局 総務部
TEL.06-6872-7703 FAX.06-6872-7707

年間スケジュール(後期)

2018	10月 8日(月・祝) 祝日授業日	22日(土) 冬のオープンキャンパス	25日(金) 一般入試(前期)
	27日(土) 大学祭(百花繚蘭祭) ホームカミングデー 地域交流講演会	25日(火) 専門科目 保育・教職科目調整期間(12/25~27)	2月 14日(木) Web成績発表
	28日(日) 大学祭(百花繚蘭祭)	28日(金) 冬期一斉休業(12/28~1/4)	18日(月) 一般入試(中期)
11月	3日(土・祝) 公募制推薦入試(前期)A日程	1月 7日(月) 授業開始	3月 5日(火) 一般入試(後期)
	4日(日) 公募制推薦入試(前期)B日程	18日(金) 臨時休講	15日(金) 学位授与式
	23日(金・祝) 祝日授業日	19日(土) 大学入試センター試験	18日(月) 一般入試(後期S)
12月	1日(土) 公募制推薦入試(後期)	20日(日) 大学入試センター試験	19日(火) 保護者宛成績発送
	21日(金) 年内最終授業日	21日(月) 後期最終授業日	21日(木・祝) 春のオープンキャンパス
		22日(火) 授業予備期間(1/22~24,28~29)	28日(木) 次年度オリエンテーション
			29日(金) 次年度オリエンテーション



千里金蘭大学 広報室

〒565-0873 大阪府吹田市藤白台5-25-1 tel.06-6872-7854

発行/平成30(2018)年11月30日

大学web <http://www.kinran.ac.jp/>

公式Twitter <https://twitter.com/senikinranuniv> 受験生応援サイト <http://www.kinran.ac.jp/cheer/>

受験生応援ブログ <http://www.kinran.ac.jp/cheer/blog/>

編集後記

大学祭が終わり、秋の深まりと共に冬の訪れを感じる季節となりました。今号では、ゼミ探訪や大学祭特集、クラブ特集を通じて、学生生活の様子をお届けしました。学業、課外活動を通して、キラリと輝く笑顔を見せてくれた彼女たち。本学が目指す「私の成長、きっとだれかのために。」を体現してくれる将来が見える想いになりました。今夏には、広報サークルが結成されました。これからも学生生活の様子を学生目線でお届けしてまいります。

私の成長、きっとだれかのために。

- 01 学長メッセージ
- 02 学科 MESSAGE
- 03 ゼミ探訪 vol.2
- 04 ゼミ探訪 vol.3
- 05-06 大学祭特集
- 07-08 CLUB
- 09-10 部局 MESSAGE
- 11 新任教員紹介
後援会事業のご案内
学園へのご支援のお願い
年間スケジュール



写真：2018年10月27日大学祭での打上花火

天災を乗り越え、
新しい発展を
目指して



平成30年11月
金蘭会学園理事長
千里金蘭大学学長
島崎 靖久

今年は、地震や豪雨、台風など、各地で自然災害が相次いでおります。被災された学生の方をはじめ、保護者の皆さまには心よりお見舞い申し上げます。本学におきましても、台風21号及び直後の大雨により3号館及び一部の施設・設備に被害が発生しました。3号館においては上階で漏水が発生したため、安全上の観点から学生の立ち入りを一部制限するなど、ご心配とご不便をお掛けしております事をお詫びいたします。後期授業科目の開講に当たっては、教室の変更を一部行う事によって、支障を来たしてはおりませんが、復旧作業に伴い現在も上階の立ち入りを一部制限している箇所がございます。また、8階の東側に研究室があった教員には、4号館3階に移動をお願い致しました。教員のみならず学生の皆さんにも何かとご不便をお掛けしておりますが、引き続き、ご理解とご協力を頂きますようお願い申し上げます。

さて、ご存知のように、今年から3年後を見据えて中期計画を立案し、「私の成長、きっとだれかのために。」をキャッチ・フレーズとして千里金蘭大学の新しい発展を各学科主導で進めています。現在、時間的に6分の1の進行程度ですが、全てにおいて前向きに進んでいます。既に、児童教育学科では、5号館1階の「金蘭おやこクラブ」と「子育て広場」のためのプレイルームは改修され、それらを基盤にした教育の新しい展開が始まっています。食物栄養学科では、「吹田くわい」の栽培を始めて、大阪産(もん)の新しい展開が始まっています。看護学科では、他大学では見られない取り組みである「模擬患者」を地域住民の皆さまに参画頂くことにより、実践的な教育の展開が始まっています。3学科共に、より実践的な教育へ新しい展開が見られ、従来の教育法とは異なる進化が見られてきています。今後の更なる展開に期待が寄せられます。

更に、従来から取り組んで居ります卒業生とのつながりの一つとして、大学祭での「ホーム・カミングデー」の充実を目的に講演会を実施いたしました。卒業生だけでなく在学学生、地域の皆さまにも興味ある内容でお届けしました。卒業生に対する就職相談など卒業後のフォローもさらに充実させてまいります。

一方、千里金蘭大学後援会のご援助を頂き、3号館1・2階のレイアウトを変更し、大学の新しい玄関として、魅力あるエントランスを造ることを計画しています。現在、その案を検討中ですが、遅くとも今年度中には新しいエントランスが出来上がる予定であります。

以上のように、天災にも負けず、新しい発展の年として、3年後に大きく進化した大学を目指して改革を進めています。更に信頼の高いより充実した大学へと姿を変えてまいります。どうか、ご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

千里金蘭大学後援会 平成30年(2018)年度総会報告

平成30(2018)年度総会が、5月26日(土)に本学で開催されました。開催に先立って、役員会において、溝端会長が再任されるとともに、新たな副会長及び監事の選任が行われたことの報告がありました。

会長：溝端 由之 / 副会長：半野 依子 / 監事：小田 希美絵 (敬称略)

その後、決議事項として、平成29(2017)年度事業報告・決算及び平成30(2018)年度事業計画・予算が承認されるとともに、新入生保護者役員が選出されました。発足4年目を迎えた今年

度は、新規事業として、新入生を対象とした研修旅行などの課外活動補助の充実のほか、特別事業として、本学3号館1・2階のスペース更新、開学20周年(2023年)に向けた積立てなどが承認されました。スペース更新については、今年度内の実施を予定しており、その更新イメージ図を本報裏表紙に掲載しておりますので、ご覧いただけますと幸いです。閉会後は、昼食を兼ねて本学教員との懇談会が行われ、参加会員の方には、本学の教育支援や教育環境の一端をご理解いただけたかと存じます。会員保護者の皆さまには、引き続きご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

千里金蘭大学 後援会事務局(千里金蘭大学内事務局)
<http://www.kinran.ac.jp/kouenkai/>

学科 MESSAGE

食物栄養学科

管理栄養士国家試験合格者数が
大阪府下で3位を堅持

食物栄養学科長
石川 秀明

今年の本学食物栄養学科卒業生(新卒)の管理栄養士国家試験合格者数は大阪府下第3位を堅持しましたが、合格率は88.3%と昨年を下回りました。問題点を精査し、現4年生では改善するよう努力しているところです。今春卒業生の就職率は97.1%と依然として高い数字ですが、栄養士または管理栄養士としての就職は、昨年より少し減少しています。健康に良い食と栄養の知識を要求する現代において、食と栄養の専門家がその知識を一般社会全体に還元していく手段として多種多様な職種に進出しているように感じられます。その流れを受けて、本学科でも学生の就職活動への意識づけを強化する試みを、キャリアセンターの協力の下、学内で実施しました(写真)。これ以外にも卒業生による講演会を毎年実施しています。9月末に予定されていた保護者会が悪天候のため中止となりました。この文章を通して少しでも学科の近況が伝われば幸いです。



児童教育学科

4月からの多様な活動を通して、
学生の皆さんが着実に成長

児童教育学科長
早田 由美子

新学期は4名の魅力あふれる新任の先生をお迎えて始動。オリエンテーション期間の宿泊研修では緊張していた新入生も、上級生の工夫で笑顔いっぱいのスタートを切りました。地域の親子が集う「金蘭おやこクラブ」では、保育のエッセンスがたくさん詰まった楽しく充実した学びを続けています。6月幼稚園教育実習(4年生)、8月インターンシップ(2年生)、保育実習(3年生)、9月～10月の小学校教育実習(3年生)の他、今年開園した金蘭会保育園での児童文化上演(写真)と保育参観(3年生)やロンドンの前田学園幼稚園での保育研修など、現場ならではの多様な内容をアクティブに学んでいます。現在、4年生は就職活動の真っ只中。公務員採用試験(公立小学校・保育所等)をめざす学生は、教職支援センターで夜遅くまで勉強し、良い成果を出しています。後期開催の大学祭、現代芸術公演会、卒業研究発表会などでも、大きな花を咲かせてくれるでしょう。



看護学科

多年代交流でつながる
4学年ミックス編成に変更

看護学科長
兎澤 恵子

看護学科はこの4月に11期生を迎えました。7期生まで総勢584名の看護職者を社会に送り出した総括として、更に教育力を強化するためにカリキュラムを見直しています。その一環として、豊かな人間性や創造的思考力、実践力を養う4年間の新しい学修環境作りの試みとして、クラス担任制を4学年ミックス編成に変更しました。1年生は、各学年の先輩に迎えられ学修方法などの情報をすみやかに入手し早々に大学生活に馴染んでいます。アカデミックな内容は2人の教員がアドバイザーとしてサポートを行うことで、思考力が大いに刺激されます。学習では臨床のリアリティを創り出すために模擬患者や教育ボランティアを導入し、地域の皆さまに患者になりきって学生と関わっていただくことで学生同士とは違う反応から多くの学びを得ています。2年生は専門科目が増え、自己の考えを発言し、他者とのディスカッションを通してアクティブな環境で思考力を鍛えています。3年生は臨地実習に向けてシミュレーション学習を行っています。4年生は12月に行われる「看護研究発表会」に向けて、先行研究論文の読み込みに余念がありません。その姿に後輩達も頼もしさを感じているようです。





申崎 幸代 齋藤 富由起
准教授 准教授

児童教育学科
子ども心理ゼミ

子どもの心理と援助について学び、
自己発見と専門的な学びにつなげる

児童教育学科では3年次に4つの専門ゼミを設けています。今回はその一つ「子ども心理ゼミ」をご紹介します。ゼミは臨床心理士である教員の齋藤・申崎が担当しています。

子どもの心理については様々な授業で学ぶ機会がありますが、少人数で受講する本ゼミでは特に体験を重視しています。授業では、自分の思いや経験を言葉にすることが苦手な子どもとどのようにコミュニケーションを取るかを学びます。例えば、砂の入った箱の中にフィギュアを置いていく箱庭療法や絵や写真を用いた芸術療法について学び、実際に自分で表現してみるだけでなく、表現されたものから子どもの内面をどのように感じ取り寄り添っていくかをみんなで話し合います。また、子ども達はストレスが身体症状として出やすいため、心と身体の関係についても学びます。まずは自分自身の状態に目を向け、そして、実際に呼吸法やタッピングタッチ、タッチケアといったリラクゼーションの技法を学び実践することを通して、これらの要素を

遊びの中にどのように取り入れられるか話し合います。先日の大阪府北部地震の際には、それぞれの経験を共有しながら緊急時に私達の心と身体がどのように反応するかについて学び、心理学的な視点から災害時に子ども達の不安を軽減するためにできる遊びや関わりについて考えました。ゼミでは、子どもや子どものいる家族を支援する近隣施設を訪問する回もあります。後期は、自閉症児の療育施設や入院中の子どもの家族をサポートするマクドナルドハウスに見学に行きました。そして、学期末には、学生がこれまでの学びから得た各自の問題意識を掘り下げて発表し、お互いに学び合っています。

このように、「子ども心理ゼミ」では様々な角度から子どもの心理とその援助について学んでいます。ゼミの雰囲気は和気あいあいとしてとても和やかです。心理学を学ぶことは自分自身について見つめ直し考える機会にもなります。子ども心理ゼミでの学びは、自己発見と専門的な学びの両方につながっています。



タッピングタッチの様子



箱庭の授業



箱庭



マクドナルドハウスの見学

ゼミ生メッセージ

私が児童教育に興味を持ったのは、いとこの子どもが生まれたことがきっかけです。身近に触れ合うことで、成長する姿に感動や喜びを感じ、子どもと関わる仕事がしたいと思うようになりました。金蘭のオープンキャンパスに参加し、少人数で先生との距離が近くアットホームな雰囲気に惹かれてこの大学を選びました。心理ゼミを選んだきっかけは、入学前から発達心理に興味があり、より詳しく学びたいと感じたからです。また、齋藤先生と申崎先生は面白く優しい先生で、授業も分かりやすく丁寧に教えてくださいるので、とても楽しく学んでいます。将来は、心理について学んだゼミでの経験を活かし、子ども一人ひとりの発達に応じた保育を行いたいと思います。

3年生 安田 みづきさん

高校での進路選択の際、私の姉が保育士をしており、その影響を受け、人の役に立つことができる保育職に興味を持ちました。千里金蘭大学で3免取得が可能なこと、心理科目が充実していること、プレイルームで子どもたちと実際に触れ合えることなどが魅力的で、この大学に決めました。子ども心理ゼミを選んだ理由は、少人数で学びを深めることができ、齋藤先生と申崎先生の人柄がとても好きだからです。3年生となり、実習も経験したことで保育士になることを決めました。人の役に立ちたいという夢は変わらず、全ての援助で子どもたちと共に成長していくという信念を持って、残り1年と少しの間に様々な経験の中でもっと具体的な保育士像を固めていきたいと思っています。

3年生 寺井 百望子さん



東 照正
教授

看護学科
生理学ゼミ

全員協働の実験研究を行ったうえで、
各自がそれぞれの切り口で研究成果をまとめる

照ジイです。学生からそう呼ばれています。だから、ここは照ゼミ。中高年者の健康運動指導の在り方を継続的に研究しています。健康グループと介護保険適用グループに挟まれた非健康・非介護グループが、フレイル予防の運動習慣を身につけて、健康寿命を維持するための支援システムを作るのが目的です。

今年は、旅行と健康を融合した「ヘルスツーリズムにおける運動量情報付きの里地散策デジタルマップ」を作成しました(図1)。最初に、トレッドミルで自分たち相互のデータを取り合う基礎実験を行います(図2)。次いで、その基礎データをデジタルマップに落とし込むために、泊りがけでフィールドに向かい応用実験をします(図3)。研究成果は各自が異なる視点で、それぞれの研究計画書や論文に仕上げます。「エビデンスに基づく統合医療研究会」でポスター発表しました(図4)。早速、大津市の特別養護老人ホームから、地域ぐるみで行うイベントに活用したいとの要請がありました。

本学科は国の指定規則に縛られた科目編成の中で忙しく過ごし、また、国試勉強に追われます。せめて照ゼミでは本来の大学らしい雰囲気味わってもらおう、そして、実験研究の醍醐味を経験してもらおうと心がけています。年によっては、共同研究グループである福知山公立大学の学生さんとの研究交流も企画します。

今年は正規のゼミ生4名に、研究テーマに関心のある同級生2名が加わりました。お互いを尊重して助け合い、うまく調整合って協力しながら実験していました。打ち合わせでこちらが熱心になりすぎた時などに、「照ジイ、まず私たちが考えてプランを練るから」「分からないときには助け舟を出してくださいね」なんて言われました。1年次「生理学」を履修していたころにはあんなに子供だったのに、「みんな大人になったなあ」と感慨深いものがあります。

卒業してもみんなで集まろう！そして、自分たちの研究の行方を見守ってね！



図1: 里地散策デジタルマップ



図2: トレッドミルの様子



図3: フィールドワーク



図4: ポスター発表

ゼミ生メッセージ

私は幼い頃の入院経験から、病気や治療に苦しむ人を支え、寄り添える存在になりたいと思い看護学科に進学しました。照ゼミを選んだきっかけは、私自身が運動好きだからです。また、運動といえばランニングや筋トレなどきついイメージがありましたが、観光しながら楽しく運動できる方法があると知り、その効果を見える化するという内容に興味を持ちました。さらに東先生や芦田先生の話が面白く、人柄にも惹かれその2人の先生から学びたいと思ったことも理由の一つです。将来は、ケアだけでなく介護予防としてQOL(生活の質)の維持向上を考えた看護ができるよう、今回の研究での経験を活かしていきたいと思っています。

4年生 伊藤 愛華さん

私が看護学科を目指したきっかけは、看護師である母親に、「看護師になりなさい」と言われたからです。言われた時は悩みましたが、今は心から母親に感謝しています。どんなに実習が大変でも、受け持ちの患者さんからの「ありがとう」の一言がやっぱり嬉しくて、私は看護が好きなんだって実感しています。照ゼミを選んだきっかけは、現在スポーツジムでアルバイトをしていて、実際に高齢者の方々とかかわる中で健康に対する思いを知り、その手助けをしたいという思いがあったからです。このゼミでは、医学的根拠に基づき高齢者の方が心身ともに健康を維持するためのウォーキングマップの作成を行っているのと知り、照ゼミを選びました。

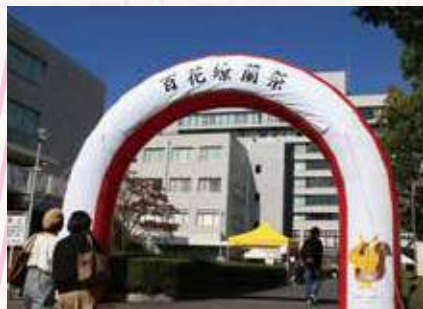
4年生 尾上 美咲さん

百花繚蘭祭

～笑顔満祭～

毎年恒例となっている打上花火をはじめ、模擬店や健康診断ブース、オレンジリボン運動など、学科の特長を活かした大学祭を開催しました。今年は、晴天に恵まれ、学内での地域交流講演会や学外での千里キャンドルロードも同日に開催されたことにより、地域の皆さまにもキャンパスでのひと時をお楽しみいただけました。今年のテーマである「笑顔満祭」のように笑顔が溢れる大学祭になりました。

2018
10/27(土)
10/28(日)



2000年ミレニアムイヤーを記念して始まった打上花火。今年も感動しました! ▶

初日の打上花火



学内で行なったキャンドルロード



吹田市のイメージキャラクター「すいたん」も登場! すいたんは、なにわの伝統野菜「吹田くわい」がモチーフのイメージキャラクターです。 ▲



ホームカミングデー

久しぶりの再会で、卒業生のみんなが大いに盛り上がりました

大学祭初日にホームカミングデーを実施しました。過去最多となる88名の参加があり、懇親会会場は盛り上がりました。参加した卒業生からは、「久しぶりに同級生と先生に会うことができました。」「旧友と会えて楽しく過ごせました。」といった声がありました。来年度も大学祭初日での開催を予定しております。卒業後に母校に帰り、旧友・教員と再会できる時間がさらに充実したものになるよう企画してまいります。



地域交流講演会

大学創立15周年を迎えての記念講演会を開催

大学創立15周年を迎え、地域と共に歩んできた記念イベントとして、「栄養・こころ・健康・社会」をテーマとした講演会を大学祭初日に開催しました。井上善文客員教授(食物栄養学科)、斎藤富由起准教授(児童教育学科)、東照正教授(看護学科)、寺口瑞生教授(教養教育センター長)の4名の教員が登壇し、それぞれの専門分野における講演を行ないました。本講演会には、35名の地域の皆さま・保護者の皆さまにお越しいただきました。





皆で成長



サッカー同好会

現在7人で活動をしています。今年は1年生が5人入部してくれました。月1、2回他大学と合同練習も行っています。全員初心者なので基礎練習を中心に楽しく練習しています。フットサル大会に出るなど、人数が少ない中でも試合ができるように工夫し、積極的にサッカーが上手な方達と交流する機会を作っています。11月は合同チームで、サッカーの試合に出ます。地道にできることから頑張っています!! 長期休みは、練習後にピザパーティやお寿司パーティをして思い出もつくっています!



ワークスタディ

職業意識・職業観を育むとともに、経済的支援を目的とした学内アルバイト
12月に募集開始予定

図書館でのワークスタディの主な仕事は、「本の返却」「書棚の整理」などです。「本の返却」は、学生さんたちが借りた本を元の場所に片付ける仕事です。「書棚の整理」は、本の種類ごとに置いている場所が違うのでその順番がきちんとなっているかをチェックし、間違っ



情報処理センターでの主な仕事内容は、パソコン室の用紙の補充をしたり、修理済みのパソコンを先生の部屋に届けたりすることです。他にも、年に1回ほどウイルス対策のソフトをパソコンに入れるお手伝いなどがあります。学内で先生方のお手伝いをするので、授業を受けていない先生と関わる機会が増え、より充実した大学生活を送ることができています。

金蘭フィルハーモニー

私たち金蘭フィルハーモニーは現在、三年生2名、二年生3名、一年生1名の計6名で活動しています。大学祭や七夕コンサートなどの学内のイベントに加え、千里キャンドルード2018での演奏等、学内外で積極的に演奏しております。皆さまにいい演奏を聴いていただけるよう練習に励んでいます! 只今、部員募集中です。



金フィル wonderful



大学生生活を応援する大学生協!

学生の皆さんと教職員が出資し設立した大学生協は、食堂運営、教科書・教材販売はもちろん自動車教習所のご案内、旅行パックのご提案など様々な商品やサービスを提供し、学生の皆さんの大学生活をサポートしています。勉学の合間や友だちとのリラックスタイムに「きんちゃん、らんちゃん」のショップで販売する季節のお菓子が大人気です。秋からは学位授与式用のレンタル袴の学内予約会があり、学位授与式当日は学内に着付け会場を設定していますので、雨の日も安心です。これからも組合員の皆さまからのご意見・ご要望を反映し、サービスの向上や改善に日々努めてまいります。



教養教育センター

人権についての難問を一緒に考えながら、「人権マインド」を養う

教養教育センター長
寺口 瑞生

教養教育には、多彩な選択科目があります。その中から、今回は「人権論」を紹介しましょう。人間は誰であれ、人として当たり前の権利=人権が保証されているはずですが、世界各地で生じている紛争やテロ、日本国内の差別や虐待、これらはいともたやすく人権を破壊してしまいます。どうすれば、世界中すべての人に人権が保障されるのか。普段考えることの少ないこのような難問、それを一緒に考えながら「人権マインド」を養うのです。もし興味がわいたら、図書館の「人権啓発コーナー」も利用してくださいね。



人権啓発コーナー@付属図書館

地域共創センター

韓国釜山女子大学の研修生をサポートしてくれる学生を募集

地域共創センター長
岩谷 智

地域共創センターは国際交流の窓口でもあります。私たちの大学は専門性の大きく異なる三つの学科からできていますが、海外研修と一緒にできれば、学年や学科の壁はすぐに消えていきます。今年も8月に英国ブライトンで英語研修を行った後、ロンドン、ウィーン、ローマと三つの都市を巡り、博物館や美術館を中心に様々な研修を行ってきました。また、毎年1月には韓国釜山女子大学から、日本語・日本文化研修生を受け入れています。今年度も20名の学生が来日する予定です。学内外でサポートをしてくれる学生を募集しています。ふるって参加してください。



コロッセオ(ローマ)での集合写真

教職支援センター

教職直前対策講座を実施
大阪府、京都府、熊本県で現役合格

教職支援センター長
黒瀬 哲也

「第5回先生になる!応援合宿」を行いました。教職支援センターでは、小学校教諭など教職を目指す学生たちの意識向上と仲間づくりを図るため、9月15日に京都仁和寺の御室会館で応援合宿を行いました。教員採用試験に至るまでの道筋を把握し、目標に向かって着実に進むための学び方を知るなど、2日間の合宿で得たものは大きかったと思います。また4月から取り組んだ教職直前対策講座が無事終了し、10月の時点で大阪府、京都府と熊本県の教員採用試験において現役合格を果たすなど吉報が届きました。これからも学生たちの頑張りに応えるため、様々な工夫と努力を重ねてまいります。



第5回先生になる!応援合宿の様子

教学センター

学生生活に必要なあらゆることをサポート、何でも気軽にご相談ください

教学センターでは、成績管理や履修事務、各種証明書の発行、奨学金の申請や学生旅客運賃割引証の発行はもちろん、クラブ・課外活動、アルバイトの案内など学生生活に関する様々な面でサポートを行っております。1年生から3年生の方で日本学生支援機構の奨学金を受給されている方は、次年度の奨学金継続手続きが12月から始まります。次年度も継続を希望される場合は、手続きをお忘れなく。その他、辞退、減額・増額などのご相談は教学センターまでご連絡ください。



奨学金冊子の一例

付属図書館

あなたの知らない先生と出会える「教員著作コーナー」のご紹介

付属図書館長
寺口 瑞生

在学生のみならず、普段教室でお会いする先生、その本当の姿をご存じですか。大学の先生は教員であると同時に、研究者でもあります。専門分野の研究の成果を論文や著書の形で公刊することは、授業と同様大切な仕事なのです。図書館にお越しただくと、入口から一番目立つところに「教員著作コーナー」があります。ここには、先生方が近年出版された本が簡単な解説付きで展示されています。ひょっとすると、あなたが知らなかった先生の本当の姿に出会えるかも。ぜひ、実際に先生方の著書を手にとってご覧ください。



教員著作コーナー@付属図書館

情報処理教育センター

コンピューター教室が新しくなりました
ぜひ、ご利用ください

情報処理教育センター長
小野 淳

今年度は、3号館6階のコンピューター教室を一新しました。サタデースクールでも利用しますので、コンピューターは英語環境でも利用できます。また、オペレーティングシステムがWindows7からWindows10に変わりましたので、昨年度までと環境が若干変化しています。ご不明な点がございましたら、情報処理教育センターまでご連絡ください。今後も、Windows7のサポートが2020年1月に終了することに伴い、他のコンピューターも随時更新してまいります。



コンピューター教室の様子

アドミッションセンター

今年もオープンキャンパスでいろいろな催し物を展開
入試ではインターネット出願を導入

今年度も5月から9月の間に合計7回のオープンキャンパスを開催し、多くの高校生や保護者の方にご参加いただきました。学科の特色を知ってもらおう授業体験プログラムや、学生スタッフや教員と一緒にランチを楽しむ「おしゃべりランチ会」などの内容で開催しました。また、9月のオープンキャンパスでは、食物栄養学科と看護学科がコラボし、学び体験イベントとして本格的な健康測定も実施し、本学の魅力を感じてもらいました。今年度の公募制推薦入試より、インターネット出願を導入。願書取り寄せも不要で、インターネット回線がつながっている環境であれば、いつでもどこでも手軽に出願ができるようになりました。



健康測定の様子

キャリアセンター

早い時期からの行動が就職のカギ

後期のプログラムが始まりました。すべて就職活動に必要な内容です。年末には全学部3年生対象の労働法セミナーを開催します。基礎知識を身につけ就職時のトラブル回避を目的とします。また今年度から就職ガイダンスを増やしました。生活科学部2年生へは12月に実施、看護学部3年生には7月、9月、11月に実施します。早い時期から行動することで今後の就職活動を優位に進められます。低学年次からの合同説明会や見学会、インターンシップなどへの参加をお勧めいたします。模擬面接や添削など、就職活動で何かあればいつでもご相談ください。



就職セミナーの様子